

【中学校】

教師は素晴らしい仕事！

～生まれ変わっても、もう一度教師になりたい～

今年で、教師という職業に就き8年、採用になってからは5年になりました。経験も浅く、勉強不足。まだまだ未熟者です。失敗も多く、反省、反省そして反省…そんな毎日を過ごしています。しかし、教師になって心からよかったと思っています。こんな私でも、生徒と日々一緒にいると、生徒の成長を見られたり、優しさに包まれたり、充実した毎日を過ごさせています。

初任の頃、私は子どもたちのために頑張ろうと必死でした。笑顔を大切にしつつも、かなり厳しく指導をしていたと思います。当時の生徒は、少し私を恐れていたのではないかなと思っています。しかし、生徒が大人になり、社会に出たときに立派に頑張っていくためには必要だと信じて、だめなことはだめとピシバシやってきました。私に指導されるのが怖くて、泣きながら職員室に入ってくる生徒もいました。私は、たぶん子どもたちからは嫌われているだろうなあ…とっていました。そんなとき、学級で先生の印象を話すという企画がありました。私の印象は、怖いとか恐怖とか悪魔とか言われるのかなあと思っていたら、意外な返答でした。

「厳しいけど優しい先生だよね！」

「先生って、面白いよね！」

「正しい行いをいつも褒めてくれる！」

「先生といると楽しい！」

「先生の授業、分かりやすいよ！」

聞いていて、驚きました。生徒は、先生の頑張りを、しっかり見てくれているんだなあとつくづく感じました。生徒のために一生懸命頑張ったこと、教師という職に就いたこと、本当によかったと思いました。

今年も、初めて3年生を担当し、毎日が感動です。宿題をなかなか出さない子どもが、少しやって来たとき、「頑張ったなあ！」と褒めまくりました。運動会、長縄を何度失敗しても、まだまだ！と前向きに取り組むクラスの子もたち。結果は、見事1位！喜びを分かち合いました。合唱コンクール、最優秀賞目指して、学級で一致団結！結果は、惜しくも優秀賞。最高の歌声だったとみんなで健闘をたたえ合い、泣き合いました。部活動、全然できない素人からコツコツ練習を重ね、すごく上達しました。試合でも、レベルの高いプレーが多く、勝ち負け関係なく、ここまで成長してくれたことに感動しました。受検に向けて、学年で挑もうとする姿勢をもち、優しく教え合う生徒たち。本当によく頑張っています。子どもたちの成長が嬉しく、そんな姿を見ることができ、私も一緒に頑張ることができたと感じています。

教師の仕事は、正直大変です。授業、生徒指導、部活動指導、進路指導、事務処理…どれも仕事量が多く、しんどいと感じることも多いかと思います。でも、授業中に「できた！」と笑顔になったり、「先生の授業、面白い！」と言ってくれたり、部活動の大会で「勝った！」と喜びを分かち合ったり、「先生が担任でよかった！」と微笑んでくれたり…子どもたちとそんなことを共有できる教師の仕事は、本当に素晴らしいと思います。この感動ややりがいは、教師になってみないと分からないと思います。

私は、生まれ変わっても、もう一度教師になりたいです。